高島第二中学校

7学年だより

第18号

令和６年３月５日（火）

発行・高島第二中学校第７学年

●進路学習「学ぶこと」について考えてみました

３学期に入ってから、キャリア教育の一環として、働くことの意義や、学ぶことの意義について考えを深める授業をおこなっています。学ぶことについての１回目の授業では、「勉強すること」や「学ぶこと」について、疑問に思っていることや悩んでいることなどがあったら、それはどのようなことか、自由に意見を出してもらいました。その結果、子ども時代に、誰もが一度は感じる疑問「**どうして勉強しなくちゃいけないの？**」から、スマートフォンが普及した今の時代ならではの悩み「**勉強しようとしても、１０分くらいで携帯に手が行ってしまう**」まで、多くの意見が出ました。

保護者の皆さまも、もし我が子に勉強の意義を問われたり、集中力が続かない場合の対策法を聞かれたりしたら、どのように返答するか、考えてみると面白いと思います。学年末考査が終わり、気持ちにゆとりができた今の時期は、こうしたことをゆっくり考える良いチャンスです。ぜひ、ご家庭で話題にしてみてください。

●頭の中のチャンネル

次の文章は、精神科医の香山リカ氏が書いたものの一部です。勉強の意義について、書かれています。ぜひお読みください。

なぜ人間は勉強するのか。いろいろな答えがあると思いますが、私はひとことで言えば、それは「頭の中のチャンネルを開くため」ではないかと思っています。人間の脳や心には、たくさんのチャンネルがあります。しかし、それは自然に開通して使えるようになるわけではありません。

例えば、家にあるテレビにいくらチャンネルが５０も６０もあっても、アンテナをつないだり、リモコンの設定を行ったりしない限り、どこにあわせてもノイズしか聞こえてこないのと同じです。そのチャンネルを開くのに一番有効な方法が、勉強ではないかと思います。もちろん、他の手段（冒険や留学など）でもチャンネルは開かれるでしょうが、それにはあまりにも多くの時間とお金が必要で、危険もともないます。それよりは、学校で安全な教室で教科書を読み、ノートを取り、勉強に取り組んでいるうちに、自分が気がつかなかったチャンネルが、自然に開かれて、いろいろな可能性に気がつくことが大切であると思います。

『若者の法則』（香山リカ著）より一部引用

●合唱祭にむけての全体練習が始まりました

２月２９日（木）、初めて学年全体で合唱練習を実施しました。練習を開始したばかりで、歌詞やメロディーに自信がもてず、声を大きく出す勇気がもてないようです。今後の練習では、これまで以上に集中して取り組み、歌詞やメロディーをしっかりと覚えられるように指導していきたいと思います。そして、合唱祭本番では、スローガンにあるように、７年生の努力の結晶をメロディーにのせて、観客に伝えられることを期待しています。

●保護者の方へ欠席連絡のお願い

欠席・遅刻・早退についての連絡を、フォームでおこなう場合、当日朝の８時１０分までにお願いします。その後は職員の打ち合わせや朝の学活、授業が始まりますので、教職員がフォームを確認することができない場合があります。朝のお忙しい時間帯で恐縮ですが、お子様の登校状況を確実に把握するためにも、８時１０分までのご連絡にご協力をお願いします。